

第9回光設計賞報告

光設計研究グループ企画の第9回「光設計賞」は、審査の結果下記の通り受賞者を決定しましたので報告いたします。

□ 受賞者

●光設計大賞

- ・「スライディングレンズシステムによる超薄型デジタルカメラ用ズームレンズ」
江口 勝 氏， 野村 博 氏（ペンタックス(株)）

●光設計優秀賞

- ・「反射型液晶パネル対応プロジェクター光学系」
佐藤 浩 氏， 奥山 敦 氏， 児玉 浩幸 氏， 須藤 貴士 氏（キヤノン(株)）

●光設計奨励賞

- ・「反射防止構造のためのレンズ金型微細加工とその成形技術」
大森 滋人 氏， 西田 直樹 氏
山本 裕子 氏， 上田 裕昭 氏（コニカミノルタテクノロジーセンター(株)）
中塚 雄三 氏（コニカミノルタオプト(株)）

●光設計特別賞

- ・「すばる望遠鏡レーザーガイド補償光学系の設計・製作」
家 正則 氏， 高見 英樹 氏， 早野 裕 氏， 渡邊 誠 氏， 大屋 真氏
服部 雅之 氏， 斉藤 嘉彦 氏（国立天文台）
和田 智之 氏， 斉藤 徳人 氏（理化学研究所）
赤川 和幸 氏（(株)メガオプト）

□ 応募

応募件数は9件でした。

□ 審査

審査はこれまでと同様に書類による1次審査(将来性, 実用性, 独創性に関して採点)の後, 審査委員に集まっていたいただき, 1次審査の結果及び各委員のコメントを考慮しつつ話し合いにより受賞者を決定しました。

- 「スライディングレンズシステムによる超薄型デジタルカメラ用ズームレンズ」については, ズームレンズ群の一部を光軸から退避させながら沈胴し, コンパクトに収納するという非常にインパクトのある方式でカメラの薄型化を達成しました. 光学設計とメカ設計の巧みなすりあわせにより実現し, 沈胴式や屈曲式と並んで, デジタルカメラの薄型化の一つの流れを確立した, 非常に有効な技術であると認め, 光設計大賞を与えることとしました。

- 「反射型液晶パネル対応プロジェクター光学系」については, 従来複雑で大型であった LCOS 搭載プロジェクターの光学系を, 非対称な光学系と偏光技術等を駆使し小型化を実現しました. LCOS 搭載プロジェクターの将来性を広げた有効な技術であると認め, 光設計優秀賞を与えることとしました。

- 「反射防止構造のためのレンズ金型微細加工とその成形技術」は, レンズ成形時に反射防止膜を同時に作成する技術です. 曲面金型への反射防止微細構造の直接加工を独創性のあるアプローチで実現したことを評価すると共に, 特に今後の実用化に期待するものとして, 光設計奨励賞を与えることとしました。

□ 「すばる望遠鏡レーザーガイド補償光学系の設計・製作」は、ハワイ島マウナケア山頂のすばる望遠鏡のナスマス補償光学系とその補償光学系を動作させるための人口ガイド星を作るシステムの設計製作です。波面センサー、可変形状鏡、レーザーガイド星生成システムという多くの光技術を組み合わせた独創的なシステムを評価すると共に、特に今後の実証実験と観測実験結果に期待するものとして、光設計特別賞を与えることといたしました。

□ 審査委員（順不同、敬称略）

丸山 晃一（ペンタックス）

志村 努（東京大学）

田中 康弘（松下電器）

土肥 寿秀（OptiWorks）

村上 照夫（光産業技術振興協会／東芝）

大木 裕史（ニコン）

立野 公男（文部科学省／日立製作所）

徳光 純（キヤノン）

林 宏太郎（コニカミノルタオプト）

山本 公明

□ 授賞式／受賞記念講演

2006年11月8日～10日に学術総合センターにて開催されました Optics & Photonics Japan 2006で、授賞式及び受賞記念講演を行いました。11月10日の午前に授賞式が行われ、丸山審査委員長より賞状、賞金が授与されました。その後、受賞記念シンポジウムを開催し、約80名の方にご参加頂きました。



授賞式後の写真

左から 丸山審査委員長、江口氏



第9回光設計大賞の記念品

ガラスフォト盾

□ 第9回光設計賞実行委員

金野 賢治（コニカミノルタオプト 実行委員長）

河野 裕之（三菱電機）

西郡 恵美子（サイバネットシステム）

光設計賞にご応募頂きました皆様、どうもありがとうございました。受賞者の皆様には心よりお祝い申し上げます。光設計研究グループは、今後も光設計賞を発展させていきたいと考えております。会員の皆様方には是非積極的にご応募頂くと共に、周囲の方々にも応募を促して頂きますよう、ご協力をお願いいたします。

（コニカミノルタオプト 金野）